

創造・参加・実践
No.757

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133

発行責任者 上村 良成
編集責任者 尾崎 裕介

中バス地本冬季期末手当妥結 厳しい経営環境の中、2.50箇月の支給

中国JRバス地方本部は、10月17日に、2024年度冬季期末手当について、「基本給+扶養手当」の2・6箇月分の要求を提出して以降、「組合員が働きがいと誇りを持ち、安心して働き続ける環境の構築のために、冬季期末手当は重要である」と会社に訴えてきた。

11月11日に、JRバス中国会社は、「早く正常な会社運営状況に戻す必要があるが、まだ会社には体力が戻っていない。しかし、会社を維持・発展させ、雇用を守っていく責任があり、社員の皆さんはかけがえのない財産だと思っている。その社員の皆さんの生活を守るために、会社の維持・発展に向けた、今後の活躍に最大限の期待を込めて、会社ができる精一杯の内容である」と述べ、冬季期末手当について、「基本給及び扶養手当の合計2・50箇月」との回答を提示した。

中バス地本闘争委員会は、組合員の取り組みや会社への協力に報いる回答と判断し、妥結した。

妥結内容

1. 正社員及び契約社員の年末手当基準額について
基準額 年末手当 基本給及び扶養手当の合計2.50箇月分
2. 嘱託運転係及びパート社員の年末奨励金について
年末奨励金 嘱託運転係 15,000円
パート社員 10,000円
3. 支払日 2024年12月10日とする。

※議論の詳細は、中バス地本が発行する「業務連絡」を参照してください。



第210期役員実践コース受講生



受講生による質疑応答の模擬演習
方々と一緒に

中央本部は、10月25日(金)26日(土)に、四條畷市のアイランドにおいて、「JR西労組ユニオンカレッジ第210期役員実践コース」を開催し、JR西日本連合からの受講生3名を含む26名が受講した。

講義では、合意形成能力やコミュニケーション能力に加え、川原副執行委員長から「JR西労組の組合役員としての基礎知識」として、労働三権・労働協約の成り立ちに続き、役員として職場でチェックすべき視点を学び、川端副執行委員長から「福知山線列車衝突事故を振り返り」と題して、当時の会社や労働組合の状況について、映像を交えて講義がなされた。

また、役員の実践スキルを高めるため、2024年度総合労働協約改訂の妥結結果をテーマに、受講生自ら職場集会の準備から開催質疑応答の模擬演習を行った。

研修を修了した受講生からは、「分会大会に向けて自信がついた」「普段知り合わない方々と一緒にグループ間の連携を確認し、各取り組みを具現化へ」と連携した取り組みなどについて提起が行われた。その後、各単組より、活動報告や課題提起を受け、活発な議論の後、グループに動くすべての組合員の雇用確保・賃上げ・生活改善などに向け、より一層の連携強化を確認し閉会した。

JR西日本連合「単組代表者会議」
グループ間の連携を確認し、各取り組みを具現化へ

JR西日本連合「単組代表者会議」
グループ間の連携を確認し、各取り組みを具現化へ

JR西日本連合「単組代表者会議」
グループ間の連携を確認し、各取り組みを具現化へ

JR西日本連合「単組代表者会議」
グループ間の連携を確認し、各取り組みを具現化へ

JR西日本連合「単組代表者会議」
グループ間の連携を確認し、各取り組みを具現化へ

JR西労組ユニオンカレッジ 「第210期役員実践コース」 組合役員としての 合意形成・コミュニケーション能力を高める

受講できてよかった」「自分にとってプラスになる内容ばかりでした」「役員としてアンテナを高くし情報を取りに行く」などの声が開かれた。

中央本部は、11月6日(水)に、西阪急ビル地下会議室において「第1回交通政策(政策調査)委員会」を開催し、各地本総支部の政策担当者が出席した。

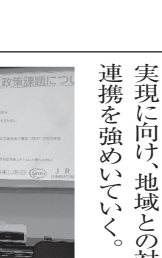
冒頭、上村中央執行委員長は、JR西日本の経営状況、地方ローカル線の課題、カスハラマニュアル作成の経緯などについて挨拶を行った。

また、JR連合石川産業政策局長を招き「JR連合の運動と政策課題について」と題して、特別講義を受け、ローカル線やJR二高、貨物、新幹線ネットワークの課題など、JR産業全体の政策課題についての認識を深めた。

JR連合石川産業政策局長による特別講義

JR連合石川産業政策局長による特別講義

JR連合と連携し、政策実現の取り組みを確認 第1回交通政策(政策調査)委員会



持続可能な地域公共交通の実現に向け、地域との対話と連携を強めていく。



グループ会社の労組
約100名が出席

中央本部は、11月6日(水)に、西阪急ビル地下会議室において、「第1回貸金対策委員会」を開催した。

冒頭、上村中央執行委員長は、JR西日本の経営状況、2025春闘の方針策定に向けた考え方などについて提起された。

その後の議事では、中央本部から、2024春闘の経過、第29回貸金実態調査の集約状況、JR西日本の経営状況など、2025春闘方針策定に向けた考え方などについて提起された。

第1回貸金対策委員会 2025春闘に向けて本格始動

今後の詳細の分析を行うことが報告された。

2025春闘に向けて、出席者からは「ベアに拘るべき」「LM層や間接部門にも光が当たる春闘とすべき」「エリア手当の改善の声が強い」等の意見が出された。

第15回ソフトボール大会 金沢地本が激戦を制し初優勝!



優勝の金沢地本チーム

ソフトボール大会を周南市緑地運動施設において、広島地本準備のもと、選手スタッフの集約を行うことができ、今後詳細の分析を行うことが報告された。

25春闘に向けて議論